

協議第 3 3 号

環境対策事業の取扱いについて（その 2）

環境対策事業の取扱いについて承認を求める。

平成 19 年 6 月 1 日 提出

熊本市・富合町合併協議会会長 幸 山 政 史

環境対策事業の取扱いについて

- 1 環境対策事業のうち下記の熊本市のみの事業については、新市の事業として継続する。
 - ・ 人工かん養促進事業
 - ・ 水資源有効活用促進事業

平成 年 月 日 原案承認 ・ 修正承認 ・ 継続審議

熊本市・富合町合併協議会 項目別調整内容

作業部会名:環境保全部会

協議項目	33 環境対策事業の取扱い	小項目名	4 人工かん養促進事業
調整方針	新市の事業として継続する		

調査	現 況		調整の具体的内容
市町名	熊 本 市	富 合 町	
市町別内容	<p>1. ビニールハウスかん養対策 雨水浸透による地下水かん養を図るため、連棟式のビニールハウスに降った雨水を浸透させる施設を設置する者に助成を行う。 助成額 工事基準額の10分の9 ※熊本市ビニールハウス雨水浸透施設設置補助金交付要綱に基づく</p> <p>平成16年度決算 5,352千円 平成17年度決算 5,464千円 平成18年度予算 5,576千円</p>	<p>1. 該当なし</p>	<p>合併後は、富合町域を含む全市域を対象として事業を実施する。</p>

熊本市・富合町合併協議会 項目別調整内容

作業部会名：環境保全部会

協議項目	33 環境対策事業の取扱い	小項目名	5 水資源有効活用促進事業 ①
調整方針	新市の事業として継続する		

調査	現 況		調整の具体的内容
市町名	熊 本 市	富 合 町	
市町別内容	<p>1. 広報啓発活動 市民の共通の財産である地下水を将来にわたり保全していくために、地下水保全への意識高揚や保全活動への促進を図る。</p> <p>平成 16 年度決算 954 千円 平成 17 年度決算 966 千円 平成 18 年度予算 1,000 千円</p> <p>2. 雨水貯留施設助成 下水道の整備により不用となった浄化槽を、雨水貯留槽に転用する者、また、個人住宅の屋根に降った雨水を貯留する雨水貯留タンクを設置する者に助成することにより、雨水利用を促進し、水資源の有効利用を図る。</p> <p>助成額 雨水貯留槽 工事費用の 2/3 以内 限度額 7 万円 雨水貯留タンク 工事費用の 2/3 以内 (対象：200 ㎡以上) 限度額 3.5 万円 ※熊本市雨水貯留施設補助金交付要綱に基づく</p> <p>平成 16 年度決算 420 千円 平成 17 年度決算 1,390 千円 平成 18 年度予算 2,100 千円</p>	該当なし	合併後は、富合町域を含む全市域を対象として事業を実施する。

次頁へ続く

熊本市・富合町合併協議会 項目別調整内容

作業部会名:環境保全部会

協議項目	33 環境対策事業の取扱い	小項目名	5 水資源有効活用促進事業 ②
調整方針			

調査	現 況		調整の具体的内容
市町名	熊 本 市	富 合 町	
市町別内容	<p>3. 雨水利用推進 小学校に雨水貯留タンクを設置し、雨水利用の啓発を図る。</p> <p>平成 16 年度決算 1,296 千円 平成 17 年度決算 1,296 千円 平成 18 年度予算 3,120 千円</p> <p>4. 節水対策 節水型社会の形成に向けて、節水社会実験等市民全体の節水への取り組みの推進や地下水保全条例の見直しを行う。</p> <p>平成 16 年度決算 12,040 千円 平成 17 年度決算 10,348 千円 平成 18 年度予算 11,715 千円</p> <p>5. くまもと水ブランド推進 くまもと水ブランド創造プランを作成し、各種事業を展開しながら「水の都くまもと」をアピールし、水環境の保全とともに、市民意識の向上や地域経済の活性化等を図る。</p> <p>平成 16 年度決算 0 千円 平成 17 年度決算 7,000 千円 平成 18 年度予算 12,000 千円</p>		